

保健福祉センターが市民活動でも利用できるようになりました

沼田市保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正が9月定例会市議会で可決され、1日から保健、福祉活動以外で「市民活動」でも利用できるようになり、多目的ホールや会議室、機能訓練運動実習室などの利用料金が決まりました。

利用料金は、午前（午前9時から正午）、午後（午後1時から午後5時）、夜間（午後5時から午後9時）に区分されています。

文化・芸術活動や市民活動などでも、保健福祉センターを利用できるようになりました。（政治、宗教活動には利用できません）



文化 芸術活動など市民活動の場所の確保を

来年3月末で中央公民館が廃止されることから、これまで中央公民館を利用して活動してきた文化・芸術団体などに説明会がおこなわれ、テラス沼田や保健福祉センターなどを中央公民館の代替施設として活用することなどが話し合われています。

市長は3月定例会市議会の大東議員質問に、「文化協会の会員数は太田市より多く、沼田の文化水準は大変高いと思っている。これはのばしていきたい」と答えました。

文化活動等をのばしていくなら、中央公民館利用者などの理解と納得を得る説明と十分に活動ができる施設の提案が必要です。

姉妹都市25周年の歩みをパネル・写真で展示

ドイツのフュッセン市と姉妹都市となって今年で25周年となることから、沼田市では25年間の交流の歩みを紹介する「パネル・写真展」を13日から19日まで、テラス沼田4階の市民ロビーで開催しました。

「パネル・写真展」では、市内の小中学校の生徒の絵（29点）やフュッセン市の児童の絵（19点）も展示されました。



強権政治と格差を拡大をすすめる政権の交代を

日本共産党街頭演説が18日、高崎駅東口でおこなわれ塩川鉄也衆議院議員が「立憲主義、民主主義を破壊し格差を拡大させる政権を倒し、政権交代を実現するため全力で取り組む」と決意をのべました。



梅村さえこ比例北関東予定候補は、「くらしと営業を守る政治をいっしょに実現させましょう」と訴えました。



権力の行使に自制がなく、改憲を加速させようとしたり、国民の苦しみに目をむけない菅政権をつづけさせるわけにはいきません。

「自己責任」を押しつける冷たい姿勢があらわになっていきます。日本学術会議が推薦した会員候補のうち6人の任命を拒否したことは、過去に例を見ない異常事態で、学術会議の推薦に基づき首相が任命すると規定した「日本学術会議法」に反し、憲法が保障した学問の自由を踏みしめる違法・違憲の暴挙です。

コロナ禍のなかで「自助・共助・公助」が目指す社会像だと公言し、国民に「自己責任」を押しつける菅首相の姿勢は、政治の役割と責任を投げ捨てたものです。

こんにちは 大東のぶゆき です

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その八十四

伏原殿の染筆

市指定重要文化財の「伏原殿の染筆」（ふせはらどののせんぴつ）は、江戸中期の勤王家で寛政の3奇人の一人と言われた高山彦九郎が、利根町大原の金子重右衛門を訪ねた際に持参したものです。（3奇人とは変な人という意味ではなく、優れた人の意味）



伏原殿とは、伏原宣條（ふせはらのぶえだ）のことで、桃園天皇の侍読や明経博士などを勤め、京都での高山彦九郎の支援者の一人でした。

「伏原殿の染筆」は、詩経（しきょう 中国で最も古い詩集で前9世紀から前7世紀に編纂されたもの）のなかの既醉という詩の一節で、「孝子不匱 永錫尔類」（こうしつぎすながく なんじに るいを たまう）と書いてあります。

金子重右衛門編著「家伝秘録」

「家伝秘録」は、先祖が残した文書や日記、金子重右衛門が知り得た政治社会情勢を文化元年（1804）に年次順に



15巻にまとめたものですが、所在不明の巻もあります。

10巻には、高山彦九郎が伏原殿の染筆を持参したことが書かれています。